

令和2年度病床規模適正化整備支援事業 事業計画書【記載例】

1. 対象施設の現況

開設者(設置者)	施設名	所在地
医療法人〇〇会	〇〇病院	〇〇市〇〇区〇〇通〇丁目〇-〇
施設の規模及び構造		
(敷地面積) 12,345.67 m ²	(自己所有地、借地の別) 自己所有	
(建物構造) 鉄骨造 4階建	(建築面積) 1,234.56 m ²	(延べ面積) 4,567.89 m ²

2. 事業の目的及び内容

<p>開設当時より、急性期医療を中心に地域医療を担う医療機関として運営してきた。</p> <p>近隣の医療機関との役割分担のもと、地域の特性を踏まえ、急性期機能病棟の病床数を削減する。</p> <p>併せて、病床の削減によって不要となる〇〇〇検査機器を処分する。</p> <p>なお、当該施設が所在する〇〇圏域では、H30年度病床機能報告において、地域医療構想が掲げる必要病床数に比べて〇〇〇〇床が過剰とされている。</p>
--

3. 病床規模適正化計画

(1) 病床規模適正化計画

※削減前病床数は前年度の病床機能報告(稼働病床数)を記入

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
削減前(A)	床	200床	50床	床	250床
削減後(B)	床	150床	50床	床	200床
差引(B-A)	床	△50床	0床	床	△50床
<補助対象となる病床数>	削減病床数	50床			
	削減率	20%			

(2) 事業期間

事業期間	開始: 令和2年10月1日 ~ 終了: 令和3年2月28日
------	-------------------------------

4. 補助申請(見込)額

総計	固定資産除却損	固定資産廃棄損	固定資産売却損	基準額	補助見込額
42,500,000円	22,000,000円	15,000,000円	5,500,000円	35,500,000円	17,750,000円

※基準額は対象病床数×基準単価

※補助見込額は対象経費と基準額の低い額の1/2相当額

↑
対象経費>基準額の場合、補助見込み額は基準額の1/2(千円未満切捨て)
削減病床50床×710(削減)=35,500千円

■担当者・連絡先

所属・氏名	医療法人〇〇〇会 〇〇病院 経理課
所在地	〇〇市〇〇区〇〇・・・
電話番号	
電子メール	